

留 衛 監 第 1 7 号

令 和 3 年 7 月 3 0 日

留 萌 南 部 衛 生 組 合

組 合 長 中 西 俊 司 様

留 萌 南 部 衛 生 組 合

監 査 委 員 益 田 克 己

監 査 委 員 前 崎 正 弘



令 和 2 年 度 留 萌 南 部 衛 生 組 合 会 計 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 に つ  
い て

地 方 自 治 法 第 2 3 3 条 第 2 項 の 規 定 に よ り 審 査 に 付 さ れ た 令 和 2 年 度  
留 萌 南 部 衛 生 組 合 会 計 歳 入 歳 出 決 算 を 審 査 し た の で 、 別 紙 の と お り 意 見  
を 提 出 し ま す 。

令和 2 年度

留萌南部衛生組合

歳入歳出決算審査意見書

留萌南部衛生組合監査委員

# 令和2年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の対象

令和2年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算

## 2 審査の期間

令和3年7月7日から令和3年7月30日

## 3 審査の方法

本決算の審査にあたっては、令和2年度歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「附属書類」という。）が地方自治法等の関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正かつ確実に行われたか等について、留萌南部衛生組合監査基準に基づき必要な審査を実施するとともに、決算及び決算額の基礎となる証書類に基づいて決算計数の正確性、適法性をただし、予算執行の適否についても審査した。

なお、現金・預金の確認及び証書類の検証については、地方自治法第235条の2第1項の定めるところにより例月現金出納検査において実施したので、その結果を参考として審査した。

## 4 審査の結果

令和2年度歳入歳出決算書並びに附属書類は、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されており、決算の計数については、関係諸帳簿等の諸書類と照合検算して審査した結果、正確であることを認めた。

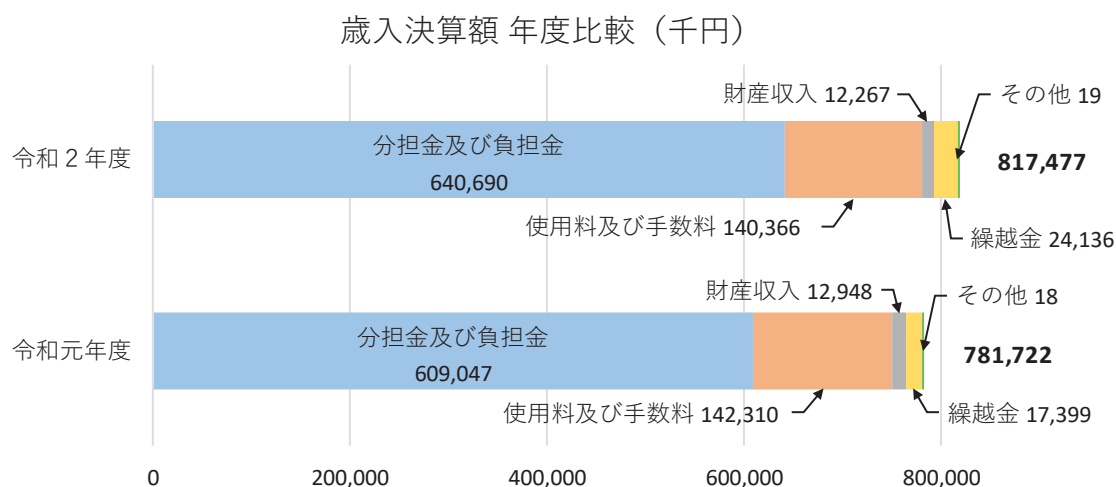
## 5 審査の概要

本会計の決算は、資料1「歳入歳出決算状況」に示すとおり、予算現額816,747,000円に対し歳入決算額は817,477,077円で、予算執行率は100.1%であり、歳出決算額は794,957,223円で、予算執行率は97.3%であって、歳入歳出差し引きにおいて22,519,854円の剰余金が生じたため翌年度へ同額を繰り越し、決算を了したものである。

## 6 歳入の決算状況

資料1(1)に示すとおり、予算現額816,747,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の817,477,077円で、予算執行率は100.1%である。

なお、前年度決算額との比較では35,754,650円（4.6%）の増加であり、款別に比較すると次のとおりである。



※科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

### 第1款 分担金及び負担金

予算現額640,691,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の640,689,909円で、予算執行率は100.0%である。

決算額が前年度と比較して31,642,656円（5.2%）増加したが、この内訳は、し尿処理場分14,299,713円の増、ごみ処理場分22,024,378円の増、火葬場分1,361,032円の減、及び有害鳥獣処理施設分が3,320,403円の減である。

この負担金は、「当組合負担金割合及び徴収条例（施設毎に制定）」に基づく管理運営費、建設費、公債費等に対する負担金で、各市町の負担内訳は施策の実績報告書のとおりである。

### 第2款 使用料及び手数料

本款は、当組合衛生センター使用条例、火葬場条例及び行政財産使用料に関する条例に基づいて使用者から徴収する使用料で、予算現額

141,046,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の140,365,610円で、予算執行率は99.5%である。

なお、決算額が前年度と比較して1,944,300円（1.4%）減少しているが、主に衛生センター使用料1,023,570円の減及び火葬場使用料1,185,000円の減によるものである。

### 第3款 財産収入

本款は、土地貸付収入及び物品売払収入で、予算現額10,872,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の12,266,937円で、予算執行率は112.8%である。

なお、前年度決算額（12,948,025円）と比較して681,088円（5.3%）減少しているが、ごみ処理に伴う資源物の売払収入の減少によるものである。

### 第4款 繰越金

本款は、令和元年度歳入決算額（781,722,427円）と歳出決算額（757,586,336円）との差引残高24,136,091円を繰越金として受け入れたものである。

### 第5款 諸収入

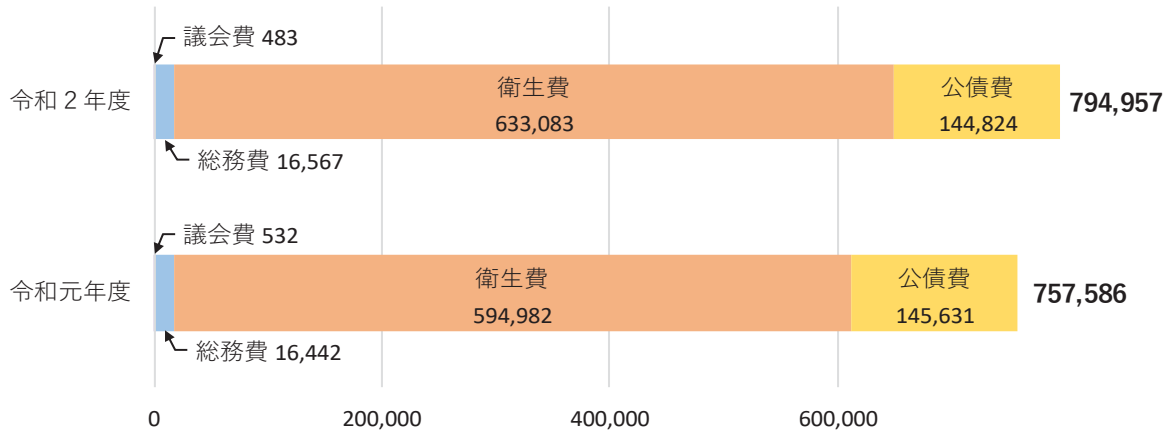
本款の収入は、全国市有物件災害共済会掛金返戻金である。

## 7 歳出の決算状況

資料1(2)に示すとおり、予算現額816,747,000円に対し、支出済額は794,957,223円で決算を了した。予算執行率は97.3%で、不用額は21,789,777円である。

なお、前年度決算額（757,586,336円）との比較では37,370,887円（4.9%）の増加であり、款別に比較すると次図のとおりである。

歳出決算額 年度比較 (千円)



※科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

### 第1款 議会費

予算現額647,000円に対し、支出済額は歳出総額の0.1%に相当する482,650円（執行率74.6%）で、不用額は164,350円である。

なお、前年度決算額（531,683円）と比較すると49,033円（9.2%）の減少である。

### 第2款 総務費

予算現額17,236,000円に対し、支出済額は歳出総額の2.1%に相当する16,567,229円（執行率96.1%）で、不用額は668,771円である。

なお、前年度決算額（16,441,671円）と比較すると125,558円（0.8%）の増加である。

### 第3款 衛生費

予算現額651,672,570円に対し、支出済額は歳出総額の79.6%に相当する633,083,274円（執行率97.1%）で、不用額は18,589,296円である。

なお、前年度決算額（594,981,712円）と比較すると38,101,562円（6.4%）増加したが、主な要因は、し尿処理場管理費における修繕料の増加等による需用費の増（10,054,890円）及び処理場管理棟屋上防水補修工事実施に係る工事請負費の増（3,523,800円）、火葬場費において当年度燃焼炉セラミック張替修繕の実施がなかったことから需用費が減（2,616,262円）、ごみ処理場管理費においては、修繕料の増加

等による需用費の増（2,274,054円）、最終処分施設被覆施設移設工事に伴う工事請負費の増（20,157,500円）及び覆土用土砂運搬業務実施に係る役務費の増（3,257,218円）、有害鳥獣処理施設管理費における焼却室床耐火物張替及び再燃焼室煉瓦積替修繕の終了等に伴う需用費の減（1,483,505円）である。

なお、不用額の主な内訳は、次のとおりである。

- ・ごみ処理場管理費 需用費 11,572,848円
- ・ごみ処理場管理費 負担金、補助及び交付金 3,245,132円

主な理由は、需用費では、各施設での燃料・電気使用量の減少、並びに施設に係る修繕の発生が想定よりも少なかったことによる支出額の減、負担金、補助及び交付金では、燃料・電気使用量の減少に伴う負担金の減である。

#### 第4款 公債費

予算現額144,825,000円に対し、支出済額は歳出総額の18.2%に相当する144,824,070円で、不用額は930円である。

支出済額の内訳は、一般廃棄物最終処分場建設事業に係る元金償還金（144,696,450円）及び貸付金償還利子（127,620円）である。

なお、前年度決算額（145,631,270円）と比較すると、807,200円（0.6%）の減少となったが、火葬場建設事業に係る償還が前年度に完了したことに伴い、元金償還金783,618円、貸付金償還利子23,582円が減少したことによる。

#### 第5款 予備費

(単位：円・%)

項 別	予算額	充用額	不用額	充用率	備 考
予 備 費	3,000,000	633,570	2,366,430	21.1	

### 8 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、地方自治法施行規則第16条の2に定められた様式で、計数にも誤りがなく正確であると認めた。

## 9 財産に関する調書

本調書に記載された財産は公有財産及び物品であり、年度中増減得喪、現在高等の状況が明らかにされており、調書に表示された計数について財産台帳と照合確認の結果、正確であると認めた。

## 10 むすび

留萌南部衛生組合は、し尿処理、火葬、一般廃棄物処理、有害鳥獣等処理事業の共同処理の実施により、1市2町の環境衛生の維持に関し重大な責任を担っているところであるが、当年度においても、関係市町との連携のもと、老朽化施設に適宜修繕を施しつつ、適切に会計処理が実施され運営が行われたものと見受けられる。

喫緊の課題として、一般廃棄物処理における最終処分施設の更新について検討が進められているものと思われるが、これまで同様、関係市町との連携を密にし、地域住民の意向を十分にくみ取りながら、人口減少や少子化など社会情勢の変化や、高齢者のごみ分別・排出等にも十分配慮し、自然環境への負荷を和らげられるような処分方法についても検討されたい。

また、現行のし尿処理施設についても、老朽化が著しく、突発的な施設損傷により、地域住民の生活に支障が発生することがないように適切な管理の継続をお願いするとともに、現状においても施設更新や処理方法の検討を迫られる時期に来ているものと推察されるところであり、関係市町との協議はもとより、下水道関係部局との連携など、より良いし尿処理のあり方も含め、検討を進められるよう要望する。

当組合の効率的な運営が継続されるなか、管轄地域内の住民の衛生的で快適な生活が維持増進することを期待する。



## 資料 1

## 令和 2 年度 留萌南部衛生組合歳入歳出決算状況

## (1) 歳入

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	予算執行率 C/A	調定対比 C/B	収入済額の 構成比	収入済額の予 算現額に対す る増減(△)額	不 納 欠損額	収 入 未済額
1 分担金及 び負担金	640,691,000	640,689,909	640,689,909	100.0	100	78.4	△ 1,091		0
2 使用料及 び手数料	141,046,000	140,365,610	140,365,610	99.5	100	17.2	△ 680,390		0
3 財産収入	10,872,000	12,266,937	12,266,937	112.8	100	1.5	1,394,937		0
4 繰越金	24,136,000	24,136,091	24,136,091	100.0	100	2.9	91		0
5 諸収入	2,000	18,530	18,530	激增	100	0.0	16,530		0
合 計	816,747,000	817,477,077	817,477,077	100.1	100	100	730,077	0	0

## (2) 歳出

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額				予算執行率 B/A	支出済額 の構成比	不用額	歳入歳出 差引額	備 考
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計					
1 議会費	647,000	482,650	0	0	0	0	74.6	0.1	164,350		
2 総務費	17,236,000	16,567,229	0	0	0	0	96.1	2.1	668,771		
3 衛生費	651,672,570	633,083,274	0	0	0	0	97.1	79.6	18,589,296		
4 公債費	144,825,000	144,824,070	0	0	0	0	100.0	18.2	930		
5 予備費	2,366,430	0	0	0	0	0	0	0	2,366,430		
合 計	816,747,000	794,957,223	0	0	0	0	97.3	100	21,789,777	22,519,854	